



INDEX

今月のサマリー

今月の日別訪問者推移

年間訪問者数推移

今月のブロック別訪問者割合

今月の訪問者属性

今月の発地×年代比率

他都市比較

サキドリトレンド【夏の落ち込みの外的要因について】

今月の特集 夏の宿泊客減少の為の夏のニーズの変化を分析

雲仙観光局活動報告

【今月の観光動向と秋季傾向】

平日利用・県外需要の伸び

2025年8月は訪問者総数16.5万人と前年並みだが、平日客・県外客(特に近畿・中部圏)需要が増加し、30～40代ファミリー層が6割近くを占めるなど「夏休みファミリー需要」が顕著になっている。

宿泊数の伸び悩みと他温泉地との対比

2025年8月の雲仙市の宿泊者数は前年同月比88%と減少。

他の九州主要温泉地(長崎市・佐世保市・別府市など)が軒並み前年超え(110～126%)の成長を示す中で、雲仙は横ばい～減少傾向にあり、宿泊需要が伸び悩んでいることが浮き彫りになっている。悪天候の影響はあったものの、単なる一時的要因にとどまらない構造的な課題の可能性も示唆される。

「温泉×自然」の強さと家族旅行の伸長

雲仙を選んだ理由は「温泉」が63%→75%、「自然景観」24%→31%と大幅増。

宿泊形態でも「夫婦2人」「小学生以下の子連れ家族旅行」が伸びており、コア資源がより高く評価されている。

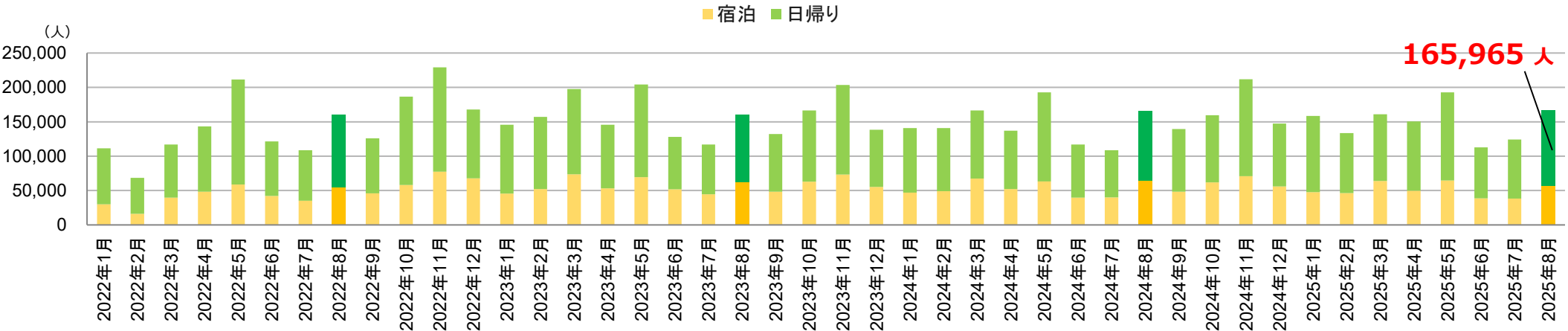
情報発信・現地体験の課題残り

温泉・自然・食事・宿泊の満足度は上昇している一方で、「旅ナカでの情報収集」「移動交通」「レジャー体験」では不満が残っており、現地での利便性・情報提供力の向上が来訪体験の完成度を左右している。

年間訪問客数推移（2022年からの推移）

- ・訪問者数は約16.5万人と前年からほぼ横ばい（2024年度8月訪問者：167,057）。
- ・連休に天候不良が重なったことなどから宿泊者数は前年を大幅に下回った。

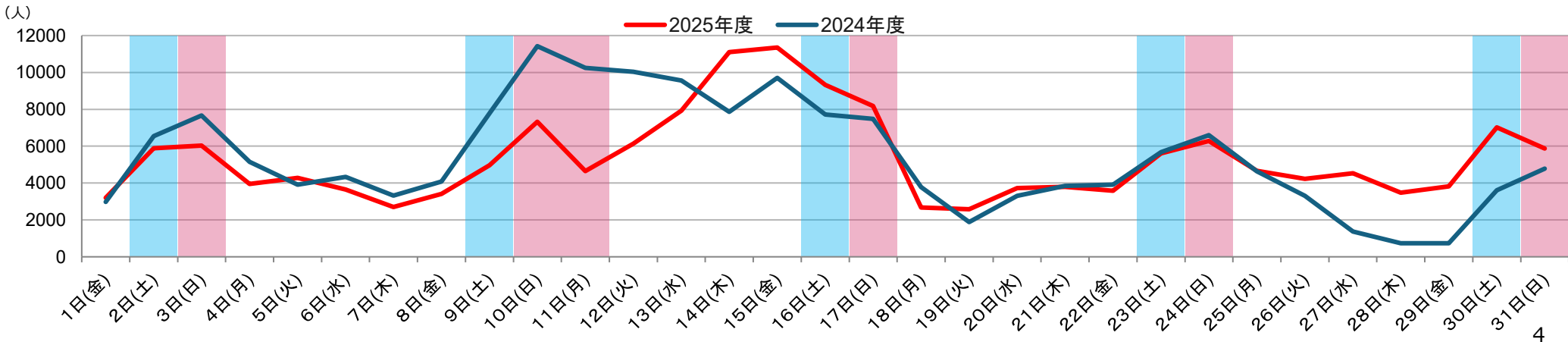
訪問客数	全体	日帰り	宿泊※
前月比	134% ↑	127% ↑	148% ↑
前年同月比	100% →	108% ↑	88% ↓



8月の日別訪問客数推移

平日・土曜日は前月・前年同月ともに上回ったが、日・祝ではいずれも下回っている。今年は15日が金曜日ということもあり、お盆休みを取りやすい曜日配列だったことが平日が増えた要因と考えられる。また10・11日の落ち込みは市内全域に土砂災害警報が出されており土砂崩れなどもあったことが要因と考えられる。

	平日	土曜	日・祝
今月平均	4,741人/日	6,559人/日	6,329人/日
前月比	170% ↑	100% →	87% ↓
前年同月比	109% ↑	105% ↑	74% ↓



※延べ宿泊滞在数（例1名が2泊3日の場合は3名とカウント）

資料）おでかけウォッチャー、入湯税実績より推計

この夏は、令和の米騒動やジャングリア沖縄の開業、物価高騰と消費マインドの冷え込み、日向灘での地震など、様々な出来事がありました。また、観光客数は例年よりも大きく減少しました。その理由にはいくつかの要因が重なっていると考えられます。以下では、その主な要因について整理してご紹介します。

①「7月5日」の大災害予言

2025年7月5日、「日本で大災害が発生する」とする予言がSNSを中心に拡散し、観光業に多大な影響を及ぼしました。この予言は、1999年に発表された漫画『私が見た未来』の内容に基づいており、特に2025年7月に南海トラフ地震や巨大津波が発生するとのものでした。

宿泊予約：特にインバウンド観光客による宿泊予約のキャンセルが相次ぎ、宿泊施設は空室が目立つようになりました。

団体旅行中止：大型バスによる団体旅行のキャンセルが増加しました。

航空便の減便：香港や韓国からの日本行きの航空便が減便、特に予言日前後の便の予約キャンセルが多くみられました。

②大阪万博の開催

世界中の国や企業、団体が集まり、最新の技術・文化・社会課題の解決策などを展示する大規模イベントです。

テーマ：「いのち輝く未来社会のデザイン」

来場者に未来社会の可能性を体験してもらうと同時に、日本や関西地域の観光・経済の活性化を図ることを目的として開催。

万博開催に伴い、大阪府や京都府など関西圏への観光客が集中し、他地域への観光客数が減少しました。特に、訪日外国人の訪問先が大阪と京都に集中している状況が見られ、これがオーバーツーリズムの懸念を引き起こしています。

③猛暑による外出自粛

2025年の夏は記録的な暑さとなり、7月における日本の平均気温は、統計を開始した1898年以降最も高い数値をマークしました(基準値からの偏差+2.89℃)。猛暑となっている原因としては、「ダブル高気圧」「極端に早い梅雨明け」「海水温の上昇」が挙げられます。

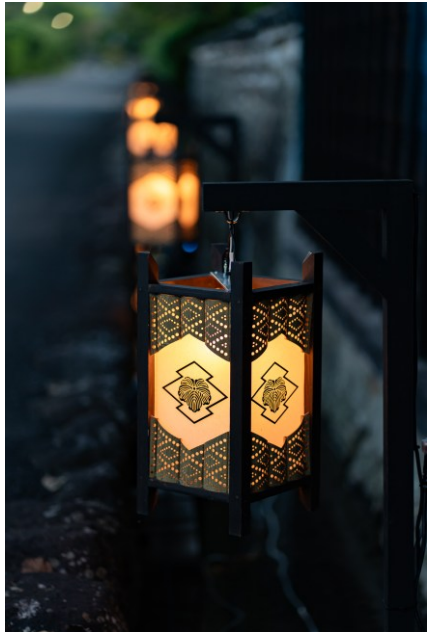
行動経済学における「現在バイアス」(将来的に大きな利益が得られるとしても、目の前にある小さな利益を優先してしまう心理的な傾向)、つまり、旅行を計画する未来の楽しみより、暑い日に外に出たくないという今の不快感に影響されたことにより、旅行客数が減ったと考えられます。

神代小路伝建地区～くうじの灯りフェスタ～開催！

ながさきピース文化祭の事業の一つとして始まった、神代小路伝建地区～くうじの灯りフェスタ～。雲仙市国見町・神代小路の町並みを舞台に、竹灯りや行燈で幻想的に彩り、鍋島邸の門にはプロジェクションマッピングで四季の移ろいや神代鍋島家の家紋を映し出しました。

神代小路地区は毎年2月、緋寒桜の開花に合わせて多くの方で賑わいますが、そのほかの季節は訪れる人が限られていました。そこで今回の事業では、この地の魅力を一年を通して広く知っていただくことを目的に、雲仙市が企画し開催しました。準備段階からは、雲仙市をはじめ、国見町の住民の皆さま、オチキモズクを守る会、発掘作業員、小浜温泉の関係者など、多くの方々にご協力いただき、竹の伐採・加工・ライト設置といった作業を進めました。

開催初日には、国見町の伝統芸能「鳥刺し」も披露され、大きな盛り上がりを見せました。その後も予想を大きく上回る来場者に恵まれ、地域の新たな魅力発信の場として、大変好評をいただくことができました。



第3回有明ベイサイドをもっと好きになるSTORYの様子

9月19日(金)に、瑞穂公民館集会室にて開催されました。35名が参加し、なんと第1回目からの連続参加者がほとんどの割合を占めました。有明ベイサイド(愛野町・吾妻町・瑞穂町)のたくさん出た資源をつなぎ合わせたり、関係性を見出したりして、「有明ベイサイドエリアの欠かせない物語」を文章にしていこうという試みでした。154個ある資源カードの中から「これだ!」と思うつながりを見つけ出すのは、とても挑戦的な試みでした。参加者のみなさまも事務局も、頭を悩ませましたが、中間発表では、各班の「有明ベイサイド物語」の一部始終を聞くことができ、有意義な時間になりました。この会で出た物語を、事務局がさらに精査して、次回につなげていきます。

次回：10月17日(金)13時30分～16時
場所：吾妻町内、吾妻ふるさと会館 研修室 1

次回は、机でのワークから離れ、少し動いてみる予定です。地元の方も、そうではない方も、どなたでも大歓迎ですので、右記QRよりぜひ参加申し込みください。



←資源をカード化して眺めながら話をしました。

中間発表で、班ごとのアイデアを共有します。↓



第4回の申込はこちら！ ↑



突撃！よろず相談窓口記録①



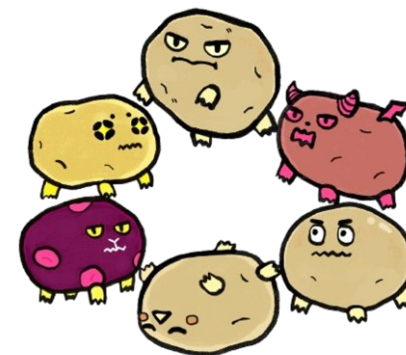
9月吉日、国見の旅館松栄の女将さんより相談を受けて、Google Business Profileのオーナー認証を行いました。紙のマニュアルがあるのですが、初めてのことで分からない部分も多く、局員が直接会って口頭で説明をしました。先日無事認証が下り、女将自らGoogle Mapに表示される情報を管理できるようになりました。旅館松栄では、近々ランチ営業の予定もあるそうです。気になる方は、Google Mapで旅館松栄をチェック！

突撃！よろず相談窓口記録②

9月吉日、本多酒店のオーナーさんより連絡を受けて、雲仙じゃがいもんすたーの紹介をしました。本多酒店では、雲仙市で生産されているじゃがいもの焼酎「じゃがたらお春」を販売しています。雲仙市が県内でもトップクラスのじゃがいも生産地であるため、もっと前面に押し出したいと考えていたところ、キャラクターがあることを思い出してくださったそうです。

雲仙じゃがいもんすたーは、2023年、市内の観光関係のワーキングの中で、じゃがいもを愛する有志によって生まれました。目的はズバリ雲仙市のじゃがいもPR。それぞれの品種の違いが考え抜かれ、見た目や性格に反映されています。使いたい方は、ルールを守ればどなたも使用できます。相談の中で、例えば、お酒を飲むときに使う椀に、キャラクターを判子で押して、特別感を出すなどのアイデアが出ました。今後具体的に進んでいく予定です。

2024年に店舗を一新した本多酒店では、最近、県南地域の各地酒屋とコラボしたオリジナルのお酒も販売されています。ぜひ訪れてみてください！



おいしさ、モンスター級!!

雲仙じゃがいもんすたー

↑現在6品種のキャラクター

雲仙観光局 よろず相談窓口



お気軽にご相談ください

- とくに得意です
 - ・人と人をおつなぎする
 - ・SNSの活用
 - ・Googleのビジネス活用
- どんな相談ができるか
 - ・観光や地域づくり
 - ・SNSやWebまわり
 - ・人材育成 など

予約フォーム→

次回出張窓口
10月14日(火)13時～16時
吾妻・愛野エリア

お待ちしております



担当：地域営業部（堀口）

雲仙市観光マーケティングレポート 2025年9月号

一般社団法人 雲仙観光局 UNZEN Destination Service

〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙320番地 TEL：0957-73-3639 FAX：0957-73-3620

(公式URL) <https://unzen-dmo.com> (全員集合！雲仙ポータル) <https://www.unzen-portal.jp/>

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

本資料は、一般社団法人 雲仙観光局の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当局までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
※お問い合わせ先：雲仙観光局／ブランディング・マーケティング部（担当：黒原・白濱・金澤）
本資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまのご判断でご利用ください。

Find UNZEN 雲仙観光情報サイト
| 自分らしい雲仙を見つける |

